＊この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	精神看護学概論	対象学生・時期	1年生・後期
		講義時期（単位）	30時間（1）
講師名	専任教員		
科目目標	1．精神看護の変遷を知り、精神看護学の概念を理解する。 2．ライフサイクルと精神の発達危機について理解する。 3．精神看護の対象及び看護の目的を理解する。 4．精神看護におけるリスクマネジメントを理解する。		

回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1. 精神科看護から精神看護へ	1．精神看護学とは 2．精神看護の課題	講義	
2	2. 精神の健康を理解するための諸概念	1．精神の機能と構造 1）精神の健康とは 2）ストレスの影響 ①生理学的因子　②物理学的因子 ③心理学的因子　④社会構造因子 3）精神障害のとらえ方		
3		『精神障害のとらえ方』の GW	GW	
4		1.『精神障害のとらえ方』GW 発表 2．まとめ	GW 発表	
5	3. 精神看護学に影響を及ぼす諸モデル	1．心のはたらき 2．心のしくみと人格の発達 1）医学モデル ①国際生活機能分類 2）精神分析モデル ①フロイト　②クライン ③エリクソン （ライフサイクルの各期の心理的特徴） 3．各期の危機的状況 ④ボウルビー　⑤コフート 3．ストレス脆弱性仮説 4．対人関係モデル 1）ペプロウ　2）トラベルビー 5．危機予防モデル 1）カプラン 6．看護モデル 1）オレム・アンダーウッド	講義	
6		1.『精神障害を引き起こす誘因や原因』と「かかわり方」GW 2．GW 発表 3．まとめ	GW GW 発表 講義	

7		1．システムとしての人間関係 1）家族　　2）個人と集団	講義	
8	5．精神保健福祉制度	1．精神保健福祉の変遷 1）精神障害と治療の歴史 2．精神保健福祉と医療・行政 1）日本における精神医療の流れ	講義	
9		3．精神障害と法制度 1）障害者総合支援法 2）心身喪失等医療観察法 3）成年後見制度	講義	
10	6．看護の対象及び看護師の役割	1．看護師の役割 1）回復（リカバリー）を支援する 2）治療の場におけるリカバリー ①急性期病棟　②慢性期病棟 3）リカバリーを促す方法	講義	
11 12 13	7. 地域における精神保健福祉活動	1．地域における生活支援 1）地域つくり 2）生活支援の方法 ①相談活動　　②教育活動 ③訪問活動 3）生活支援の方法と実際 ①ケアマネジメント ②多職種連携　③退院を支援 ④再発の危機　⑤家族	講義	
14	8．リスクマネジメント	1．安全を守る 1）リスクマネジメントの考え方と方法 2）緊急事態の対処 3）緊急事態とスタッフ支援	講義	
15	単位認定試験 まとめ			

評価方法	筆記試験		
使用テキスト	系統看護学講座　精神看護学の基礎　医学書院 系統看護学講座　精神看護学の展開　医学書院 系統看護学講座　家族看護学　医学書院		
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。

＊この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	精神看護援助技法	対象学生・時期	2年生・前期
		講義時間（単位）	15時間（1）
講師名	看護師		
科目目標	1．精神看護の基本技法を学び、対象理解及び援助に必要な働きかけ方を理解する。		

回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1．精神障害をもつ人との人間関係	1．精神障害者をもつ人とのかかわり方 1）ケアの前提 2）ケアの原則 ①互いの境界　②パーソナルスペース ③基本的な関わり方 3）ケアの方法	講義	
2		2．患者－看護師関係の理解 1）関係をアセスメント ①プロセスレコードの活用 3．患者－看護師関係でおこる現象のしくみと対処法 1）共同創造（コプロダクション）		
3		4．チームの中で生じやすい混乱と対処法		
4	2．精神障害をもつ人への看護援助	1．入院治療 1）精神科を受診する意味 ①日常生活での「つまづき」 ②入院形態 ③精神科病棟の特徴 2）治療的環境 3）入院中の観察とアセスメント 4）看護の方向性 5）退院に向けての支援	講義	
5		2．精神科における身体のケア 1）精神障害をもつ人における身体のケア 2）看護ケアの実際 3）精神科治療に伴う身体ケア ①薬物療法を受ける患者のケア 4）身体合併症のアセスメントとケア 5）精神科の終末期ケア		
6		3．回復のためのプログラム 1）疾病管理 2）ソーシャルスキルトレーニング（SST） 3）認知行動療法（CBT）		

7		4. リカバリーのプロセス		
7.5	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	系統看護学講座　精神看護学の基礎　医学書院 系統看護学講座　精神看護学の展開　医学書院 系統看護学講座　家族看護学　医学書院			
自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。	

＊この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	精神障害のある対象の看護	対象学生・時期	2 年生・前期
		講義時期（単位）	30 時間（1）
講師名	看護師		
科目目標	1. 診察・検査治療を受ける対象に必要な看護を理解する。 2. 精神障害を持ちながら生活する対象に必要な支援方法が理解する。		

回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1 2 3 4 5 6 7	1. 主な症状に対する看護	1. 精神病棟という治療的環境と患者の生活 2. 精神障害もつ人の看護 1）診断と疾病の分類 2）統合失調症 3）気分〔感情〕障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群〕 3. 神経症状をもつ人の看護 1）恐怖症性不安障害 2）強迫性障害（ＯＣＤ） 3）重度ストレス反応および適応障害 ①トラウマインフォームド・ケア（TIC） ②逆境体験 4）解離性（転換性）障害 5）身体表現性障害 4. 精神作用物質使用による精神および行動の障害をもつ人の看護 1）アルコール症 2）ゲーム障害、ギャンブル障害 5. 各発達段階であらわれやすい精神障害をもつ人の看護 1）知的能力障害／知的発達障害 2）てんかん 3）発達障害 4）摂食障害 5）パーソナリティ障害 6）秩序破壊的・衝動制御・素行障害群 6. 認知症の状態にある患者の看護 7. その他　精神障害をもつ人の看護 1）睡眠障害 2）性別違和、性別不適合 3）性の健康に関する状態	講義	
8 9	2. 診察・検査および治療に伴う看護	1. 診察に伴う看護 2. 検査に伴う看護 3. 薬物療法に伴う看護	講義	

10		4. 痙攣療法を受ける患者の看護 5. 身体合併症のある患者の看護 1）メタボリックシンドローム 2）やせ　3）肺炎　4）骨折　5）窒息 6. 精神療法を受ける患者の看護 7. 社会療法を受ける患者の看護		
11				
12	3. リエゾン精神看護	1. 医療の場におけるメンタルヘルス 1）身体疾患をもつ患者のメンタルヘルス 2）リエゾン精神看護とその活動 3）リエゾンナースの活動の実際 4）看護師のメンタルヘルスの支援 2. 災害時のメンタルヘルスと看護	講義	
13				
14	4. リハビリテーション療法の展開	1. リハビリテーション療法と地域精神保健 1）デイケア 2）訪問看護 3）就労支援 2. 地域におけるリハビリテーション 3. リハビリテーション療法と今後の課題	講義	
15	単位認定試験 まとめ			
評価方法	筆記試験、第 1 回～第 13 回の学習内容で評価する。			
使用テキスト	系統看護学講座　精神看護学の基礎　医学書院 系統看護学講座　精神看護学の展開　医学書院 系統看護学講座　家族看護学　医学書院			
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。	

＊この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	精神看護学演習	対象学生・時期	2年生・後期
		講義時間（単位）	30時間（1）
講師名	精神科病棟での看護実践経験		
科目目標	1. 精神障害のある対象の看護過程の展開が理解できる。 2. 対象との関わりについて振り返り方法を理解する。 3. レクリエーション等の企画、実施について考える 4. 精神看護に特有な援助技術を理解する。		

回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	1．精神に障害のある対象（統合失調症）の看護過程の展開	1．事例：統合失調症（退院前）での看護過程の展開 1）情報の整理	講義 演習	
2				
3				
4		2）アセスメント		
5		3）看護問題の明確化		
6		4）看護計画		
7		2．事例をもとに実践		
8				
9	2．看護援助技術演習	1．プロセスレコード（事例） 1）対人関係の意義、看護の役割 ①自己理解と他者理解 ②患者-看護師関係の発展過程	演習	
10				
11		2）看護場面の振り返り ①場面選択の動機 ①分析方法 ②考察・評価		
12				
13		2．レクリエーション、行事等の企画 1）目的 2）内容 3）レクリエーション実施計画書作成	演習	
14				
15		3．ソーシャルスキルトレーニング 1）ロールプレイ 2）ディスカッション	演習	

評価方法	提出した課題の内容・討議への参加態度を総合的に評価する。		
使用テキスト	系統看護学講座　精神看護学の基礎　医学書院 系統看護学講座　精神看護学の展開　医学書院 系統看護学講座　家族看護学　医学書院		
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う。 課題に取り組む